

プレスリリースで認知度が向上した養鶏場

ヤマサキ農場 (高知県)

創業60年の養鶏農場、現代表は3代目。高知らしい卵をとという思いから水と飼料にこだわった柚子の香りのする「ゆずたま」を開発。

1. 相談のきっかけ

食品工業団地組合の
新商品研究会で、ヤマサ
キ農場の営業担当とコー
ディネーターが出会い、
「よろず支援拠点」の話
をしたところ、早速、広報の
進め方について相談に。
(H26.7)

2. 課題整理・分析

- ・課題の整理
モノ: 柚子の香りがする卵
(ゆずたま)
→ 柚子の香りがする卵ない
- ・現在の取引先
県内: 百貨店＋スーパー
番店
県外: 首都圏高級食材店
(5店舗に)
県内認知度
ほとんど知られてない。

3. 解決策の提案

- ・ニュースリリースをしよう
- ① 書き方指導→添削
↓
- ② 県内マスコミに配布
「首都圏でゆずたまの販売
好調」
↓
- ③ 地元放送局にヒット
7/30に地元番組放送



4. 成果

・その後

- ① 地元での認知度が向上→「ゆずたま」の売上アップに貢献
- ② この地元TVの放映によって、首都圏の銘品店との取引が始まり、首都圏の取引先(5店舗)→(15店舗)に



<相談者の声>

安心・安全はあたりまえで、お客様に「この卵は美味しいね。」と言われ、「またこの卵を食べたい。」と言われる卵を生産しています。

よろず支援拠点には、気軽に相談にいけ、プレスリリースもやってみれば簡単でした。